



日頃より、保護者の皆様には感染症対策へのご理解とご協力をいただき感謝しております。我孫子市への感染も徐々に広がりつつあるコロナウイルスですが、どうすれば子ども達を守るか試行錯誤しながら職員一丸となって保育に当たっています。

換気や環境消毒に加え、保護者の皆様に協力していただき、極力保育室への出入りを少なくし園児以外からウイルスが持ち込まれないよう注意しています。

今後の行事に関しましても、なるべく大きな集団をつくらないことを前提に計画を立て直しているところです。大変残念ではありますが、秋に予定している「運動会」「バス遠足」につきましても縮小・中止で検討しています。「個人面談」に関しましては、期間を設けず必要な方には、その都度行っていける形にしていきたいと思っています。詳細につきましては、後日お知らせいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

園長 松尾康弘

保健コーナー 〈登園基準のご確認をお願いします〉

○発熱の場合、37.5℃を目安とし、家庭保育をお願いいたします。なお解熱後24時間経過し普段の様子と変わりなければ登園させてください。保育中に発熱があった場合も、お迎えを要請させていただきます。

○嘔吐または下痢症状が見られる場合、最後の嘔吐や下痢が出てから24時間以内は登園を控えていただきます。また、登園後症状が見られた場合も、すぐにお迎えの要請をさせていただきます。



行事予定

8月

11日(火) 0.1.2歳児 身体測定
12日(火) 3.4.5歳児 身体測定
26日(水) 運動あそび指導
28日(金) 避難訓練

9月

2日(月) 避難訓練(防災の日)
4日(水) 運動あそび指導
9日(月) 0.1.2歳児 身体測定
10日(火) 3.4.5歳児 身体測定
16日(水) 運動あそび指導
30日(水) 運動あそび指導



ひだまり通信

子育てのヒントを毎月掲載します

毎月、「子育てのヒント」を掲載させていただいておりますが、子育ての悩みの中にはスキンシップ、肌と肌とのふれあいによって解決されるものもあります。そこでオススメなのが「わらべうた」です。いろいろなものがあり、例をあげると「あんたがたどこさ」「あぶくたった」等もそうです。わらべうたについて専門家の汐見先生は以下のように言っています。



●汐見稔幸先生

(東京大学名誉教授、白梅学園大学学長)→著書をひだまり通信の参考文献に使用しています。

「わらべうた」は、ふれ合いのうたであり、子どもと遊ぶうたであり、育ちを支えるうたに他なりません。そのゆったりとしたリズム、五感をやさしく刺激するふれ合いなど子育てにおける大切な要素がたっぷりと含まれています。

愛情をたっぷり受けて健やかに育ってほしいと願った子どもへの思いがうたわれています。心と体の発達という面においても、「わらべうた」はとても重要な役割を果たしてくれます。愛情を心の栄養として欠かせない人の育ちにとって、信頼する人からの愛情溢れる肉声と肌のふれ合いをくり返し受けることは、なくてはならない体験です。

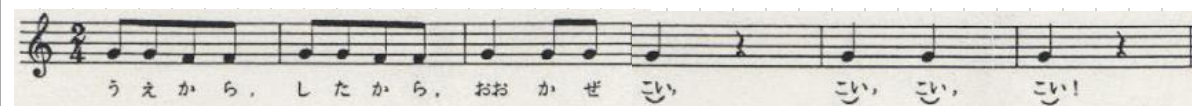
聞きやすい、うたいやすい、覚えやすい、たくさんのふれ合い体験を与えてくれる「わらべうた」が子育てにとって欠かせないものとして伝えられてきたのには、理由があるのです。長い年月を生き抜いてきた人々の知恵が、子育てのスキルとしての「わらべうた」として残ってきたのです。



アンジェリカ保育園でも、わらべうたに詳しい保育士の渡辺節子や主任保育士の大野好美を中心に研修などを行って保育士としての更なるスキルアップを図り、園を盛り上げていきたいと思ひます！

わらべうた「おおかぜこい」

子ども達の頭上でシーツなどの布を大きく上下させ最後に「いないいないばあ」で締めくくります。



①布の端っこを大人が持ち、歌に合わせて大きく上下に揺らす。子どもは布の下に入る。



②歌い終わった後、ふわっと子どもの上に布をかけ顔が見えた子どもに「ばあ」と声をかける。

これから毎月わらべうたを、ひだまり通信と別に掲載していきます。ご家庭でも子どもと一緒に楽しんでみませんか？

